

稲作だより ~第6号 分けつ確保 編~

水管理で分けつを確保しよう！

- ◎現在の生育は、夜温が高く経過した影響で、草丈がやや長く、茎数はやや少ない状況です。
- ◎また、土壌のワキが発生し、根が傷みやすくなっています。今すぐ田んぼの水を交換し、分けつ発生を促しましょう！

1. 生育概況

◎6月11日の生育状況(北村山農業技術普及課調査)

調査地点 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉数 枚	葉色 SPAD	備考
村山市 平坦 はえぬき 田植5/20	本年	26.5	184	5.8	32.2	平年に比べ、草丈やや長く、茎数少ない、葉数やや少なく、葉色は並み。
	前年	20.6	138	5.8	25.9	
	平年	24.3	218	6.1	32.8	
	平年比・差	109	85	-0.3	-0.6	
村山市 平坦 つや姫 田植5/20	本年	32.8	193	6.2	35.9	平年に比べ、草丈長く、茎数少ない、葉数やや多く、葉色は並み。
	前年	26.7	172	5.6	30.2	
	平年	27.2	223	5.8	34.7	
	平年比	120	86	0.4	1.2	

2. 水管理～水交換でワキ対策を！～

(1) ワキ対策を急ぎましょう！

- 6月上旬までの高温により、ワキ(土壌の還元)が発生しています。水交換により、早めに対策を行いましょう。

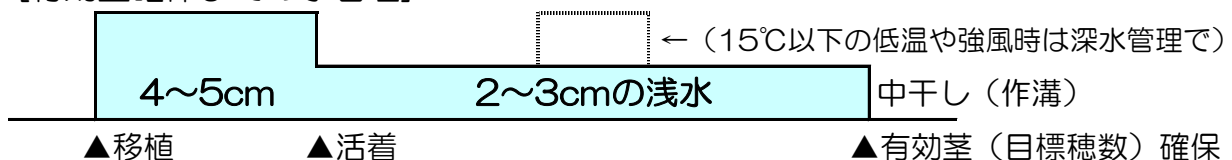
ワキの程度		生育への影響	対策
軽	水田に足で踏み込むと気泡が発生	根の活力低下	水交換
中	水田に足で踏みこむと盛んに気泡が発生	根張りが不良	水交換、夜間落水
重度	晴天時に自然に気泡が発生 足で踏む込むと、著しく気泡が発生、悪臭	根の伸長阻害、葉の黄化、生育停滞	夜間落水、曇天日に2～3日間落水

※1～2日程度、落水しても、除草剤の処理層は壊れません。重度のワキは、迷わず落水！

(2) 浅水管理で分けつを促進し、m²当たり茎数を確保しましょう。

日中は浅水(止水)、入水は早朝に！

[有効茎確保までの水管理]



(3) 作溝・中干しは遅れずに！

中干しの開始時期は、8葉期（6月25日頃）に田んぼで判定！

- 現在の生育は、茎数の発生が遅れていますが、水管理等により分けつの発生を促進し、有効茎（穂になる茎数）が確保されたら、落水して作溝・中干しを行いましょう。

【中干しの効果】

- 土壌に酸素が補給され、イネの上根が伸長します。
- 土壌中の余分な窒素を大気中に逃がし、イネの無効分けつを抑制します。
- 田面が締まり、地耐力が向上し、秋のコンバイン収穫が効率的に行えます。

【作溝の効果】

- 水のかけ引きが、より短時間で行えるようになります

3. 病害虫対策

(1) 田んぼの置き苗は「葉いもち」の発生源！今すぐ処分しましょう！

- 管内の巡回では、置き苗の残存率は約5%、昨年より多くのほ場で地域を問わず確認されています。



(2) 斑点米カメムシの対策を早めに行いましょう！

- 今年も、斑点米カメムシ類の発生は“やや多い”との予報です(県病害虫防除所調べ)
- エサとなるイネ科雑草(下図)に注意し、農道・畦畔の草刈や雑草地の耕うん等、地域ぐるみで対策を徹底しましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ



農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

農薬のラベルをよく読んで使用しましょう！

～農薬危害防止運動実施中～